

編集後記

『心理相談室紀要 第19号』をお届けできましたことを大変嬉しく存じます。

本号も、大学院生・研修生の事例論文とそれに対するコメンテーターの先生方の示唆に富むコメント、加えて心理相談室が主催して行った数々の地域実践の報告等、例年に劣らず充実した内容になっていると自負しております。お力添えいただいた先生方、心理相談室の各種企画に関心をもちご参加いただいた方々、そして臨床家を目指して主体的に学び続けた大学院生・研修生の諸君にあらためて感謝の意を表したいと思います。

また本年度の前期まで、ドレイク基金により客員教授としてお招きしていた米国 UCLA 臨床心理学准教授でハーバー UCLA メディカルセンター子どもトラウマクリニック前ディレクターの J.S. Shelby 氏も、大学院生の臨床教育に大きな刺激を与えてくださいました。我々心理相談室教員スタッフとしても、普段の臨床活動並びに臨床教育を振り返る機会、更に視野を広げ心理相談室の活動や役割を展望する良い機会になったと思います。

来年度からは、臨床心理士の養成機関と共に、公認心理師養成のための大学院実習の機関としても、心理相談室がますます重要な役割を演じることになります。心を引き締めて、心理相談室の新年度を迎えたいと思う次第です。

(石谷 真一)

編集委員

鶴田 英也・吾妻 壮・石谷 真一・小林 哲郎・國吉 知子・須藤 春佳
児玉 佳子・桑山久仁子・一葉 綾香・下山 佳奈・福田 杏・今西 亜衣・中山貴久子

心理相談研究 第19号

2018年3月31日 発行

発行 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室
〒662-8505 西宮市岡田山4-1
TEL 0798-51-8554
FAX 0798-51-8555

印刷 尼崎印刷株式会社
〒661-0975 尼崎市下坂部3丁目9-20
TEL 06-6494-1122
FAX 06-6495-2360